

STUDENTS

つくばスチューデント

第7回筑波大学学生生活実態調査の結果を受けて — 自由記述欄に書かれた意見・要望に対する大学の回答 —

contents

1 はしがき	2
2 自由記述欄に書かれた意見・要望に対する大学の回答	
(1) 勉学関係	3
(2) TWINS 関係	4
(3) 就職・進路関係	5
(4) 図書館関係	6
(5) 施設・設備関係	7
(6) 事務職員への要望関係	9
(7) 掲示関係	9
(8) 授業料・奨学金関係	10
(9) 福利厚生施設関係	10
(10) 課外活動・サークル関係	11
(11) 学内行事関係	11
(12) 学内交通関係	11
(13) 学生宿舎関係	12
(14) 学内の治安関係	14
(15) 保健管理センター関係	15
(16) 大学の広報関係	15
(17) その他	16

(注) 1 この目次の項目名等は、「第7回学生生活実態調査報告書」の第13章自由記述欄のまとめに合わせています。
2 () 内の部局名等は、回答を担当した部局等を表しています。



筑波大学
University of Tsukuba

第7回筑波大学学生生活実態調査の結果を受けて

— 自由記述欄に書かれた意見・要望に対する大学の回答 —

1 はしがき

本学では、平成15年10月に本学学群・学類学生を対象とした標記実態調査を実施し、その調査結果を昨年3月に「平成15年度第7回筑波大学学生生活実態調査報告書」として刊行するとともに、調査結果の概要を「つくばスチューデント」に掲載しました。

調査結果は、筑波大学の学生像をよく示すものとなっており、それらの中には本学の特徴をよく表しているものが数多くあります。

特に、大学の教育や学生生活全般にわたって約1,000件もの意見・要望が出された「自由記述」では、手書きの一字一句から大学に伝えたいことを真剣に書き込んだ様子が伺え、極めて重要なものとなっています。

そこで、今回、学生の皆さんから寄せられたこれらの意見・要望の主なものを分類・整理し、それぞれに担当部局からの回答を行います。学生の皆さんには、今後、学生生活を送る上での参考にしていただき、また、教職員にあっては、学生の指導・助言や、学生が充実したキャンパスライフを送れるような提言等に活用していただきたいと思います。

最後に、この調査に回答してくれた学生の皆さんや調査実施にあたってご協力いただいた方々、並びにこの度の回答を担当された部局等に対して深く感謝いたします。

平成17年3月

副学長（教育，学生生活）

林 史 典

2 自由記述欄に書かれた意見・要望に対する大学の回答

(1) 勉学関係

<p>設備も整っていて素晴らしい環境。でも、授業に平気で遅れてくる先生や、一人で授業を進めて、あまり魅力ある授業をしない先生も何人かいるのは残念。 大学ならではの学問の基礎の基礎。「学問をやる上で基本的なこと」を教えてほしい。 教官は教え方が下手だと思う。講義，テストが多すぎる。講義が教科書の内容の羅列では面白くない。</p>
<p>本学では、平成 16 年度に新設した学群教育室を中心に、現在、授業改善等に向けた取組みに着手しています。 具体的には、平成 15 年度から「TWINS を利用した授業評価アンケート」を試行し、それに基づく授業改善に取り組んでいます。また、平成 17 年 2 月には「第 1 回全学 FD (Faculty Development) 研修会」を開催するなど、いっそうきめ細かな教育・指導を行うための施策を講じています。</p>
<p>「休講」「教室変更」等の知らせがもっとよく伝わるようにしてほしい。 集中授業の日程を学期の始めには発表してほしい。 長期休業中に集中授業を掲示したり、申請期間をその時期に設けるのは避けてほしい。</p>
<p>休講や教室変更については、各支援室の掲示板に掲示することで学生に周知していますが、さらに分かりやすくなるよう、工夫をします。 また、履修申請に支障を来さないよう、担当教員からの情報をできるだけ早く得て、周知できるように努めています。</p>
<p>1 年次のオリエンテーション時に、履修方法等もっとわかりやすく具体的に教えてほしかった。 もっと専攻の説明会をしてほしい。 単位の取れない授業、申請の期間などの重要なことをもっとわかりやすくしてほしい。</p>
<p>オリエンテーション時における履修方法や専攻・申請期間等の説明についても、各教育組織における担当教員と調整をとりながら、改善を図ります。また、支援室窓口においても適切な対応ができるよう心がけたいと思います。</p>
<p>障害者への対応の充実。(施設・設備、支援活動の充実等) ボランティア紹介制度を充実してほしい。</p>
<p>現在、筑波大学における障害学生に対する支援については、担当副学長のもと全学的に支援委員会を組織し、施設設備の充実を含め、より良い環境づくりができるよう多面にわたり検討し対応をしています。 また、講義保障者の養成講習会を関係の教員の協力を得て実施し、ボランティアの数も年々増えています。 これらについて要望等があれば、支援室などを通じて申し出てください。</p>
<p>授業時に時々席が足りない。</p>
<p>教室の管理は各支援室教務が担当しており、その状況を把握し、対応していますが、気付いた点は、担当に申し出てください。</p>
<p>教職の授業や、就職ガイダンスに参加しにくいカリキュラムを改善してほしい。 教職の授業が取りにくい。必修とかぶっていたり、卒業単位に入らないので大変だったり、取り方がわかりにくいので、教職のカリキュラムを見直してほしい。 東京教育大学を前身にもつなら教職関係の科目をもっと取りやすくしてほしい。教育心理学、基礎学など通年で大変とりづらい。 もっと他学群の授業をとりやすいカリキュラムにしてほしい。</p>
<p>授業科目は、各学群・学類が開設することとなっていますが、総合科目、外国語、教職に関する科目等は時間割が固定されています。専門科目等は、固定時間割と重ならないように開設することとなっていますので、カリキュラムの見直しは、各学群・学類の教員等に相談してください。 また、履修の方法等についても、各学群・学類の教員等に相談してください。</p>

<p>取らなければならない教職科目が多すぎる。他の取りたい科目、取らなければならない科目が取れない。もう少し減らすなり、実施期間を短くするなりしてほしい。</p> <p>入学前に考えていた授業とは異なったものが多い。教職科目の多さ。</p>
<p>教育職員免許法で、教職、教科に関する科目等及び最低修得単位数が規定されていますので、大学の判断で減らすことはできません。</p> <p>また、実施期間も単位の関係上、短くすることはできません。</p>
<p>関東地方の南部出身者だけが強制的に附属学校に行かされるのはいかがなものか？実習生はもう少し対等に扱われるべきである。</p>
<p>教育実習校の決定は、教育実習を行う前年度の5月頃に、筑波大学協力校での実習（特例1）及び特別な理由による出身校での実習（特例2）の他に10月に行われる教育実習予備選考会において、希望する実習校を割り当てるのが基本です。受入れ可能数により希望者が多い場合は抽選となりますので、関東地方の南部出身者だけが強制的に附属学校に行かされることはありません。</p>
<p>⑩ 教職の単位も卒業単位に認定してほしい。</p>
<p>教職に関する科目は、教職の専門性の観点から、卒業単位とはしていません。</p>
<p>⑪ 教育実習について、交通が非常に不便にも関わらず、協力校が遠方である。母校での実習を希望する者には全員、母校での実習を許可すべき。全員が車をもっているわけではない。</p>
<p>教育実習は、本学の附属学校及び本学の協力校で行うのが原則です。</p> <p>母校実習については、全学学群教職課程委員会において、一定の基準を基に審査し、許可しています。</p> <p>全学学群教職課程委員会で改善策を検討中です。</p>

(2) TWINS 関係

<p>学外から TWINS が利用できるようにしてほしい。</p>
<p>TWINS へのアクセスは、大学内のパソコンか否かを判別して許可しています。</p> <p>これは、TWINS は筑波大学の学生、教員及び事務職員に対して学務情報取得を支援するためのシステムであり、不特定多数の全世界に向けて発信する情報とは異なるからです。ユーザー認証を行っているとはいえ、昨今の悪意を持った部外者からの攻撃等に対して大切な情報を守るため、学外から直接、TWINS へアクセスすることは認めておりません。ただし、TWINS の掲示板に掲載される情報は、ユーザー側へ広く連絡すべき内容として、学外のパソコンや携帯電話等から情報を見ることができますが、この場合もユーザー認を条件としています。</p> <p>学外からの TWINS 利用の要望は、ユーザーの利便性の向上を図る上で必要なことではありますが、大学全体のセキュリティ対策や技術的な改良が必要となるため、今後の検討課題として取り組んでいきます。</p>
<p>TWINS の掲示板に情報が少なく、機能していない。</p> <p>休講、お知らせ等の情報を充実させてほしい。</p>
<p>TWINS の掲示板は、学内・外からのパソコンのほか、携帯電話でも閲覧可能です。掲示内容には「授業」「休講」「補講」「教室変更」「学生呼び出し」「行事予定」及び「事務からのお知らせ」の7つのジャンルに分かれており、これらの情報を特定の対象者（例えば履修学生、学生個人等）や全学に広く提供できます。TWINS は、発信源（者）による情報の直接入力为基础的な考えとして開発しており、現在、この掲示板に情報を載せられるのは、TWINS を使用する教員及び事務職員です。現状では、これらの機能が十分に理解されていないこともあり、学内への連絡方法の一つになっているため、まだまだ情報量が少ないのが実情です。</p> <p>今後は、教員、事務職員に対し、この掲示板機能をさらに広く説明し、利用促進に向けて努力していきたいと思いますが、学生諸君においては、授業担当教員と相談の上、普段の授業の連絡手段に TWINS を利用するよう勧めていただければと考えます。なお、TWINS の掲示板へ情報を一本化してほしいとの要望もありますが、学生の Web 機能を有する携帯電話等の普及率が不明であること、学外からの掲示入力ができないため、急用時の休講等の連絡に対応できないこと等から、現在のところ TWINS への移行は困難と考えます。</p>

授業評価アンケートにおける TWINS の使い勝手が悪い。

TWINS の一般アンケート機能は、回答した学生のプライバシーを守るために、当該学生の学籍や履修データとは、一切、関わりを持たないようになっています。(アンケートに対して誰が回答したか特定されません。)このため、平成 15 年 9 月のアンケートでは、各学生ごとに履修科目数相当のアンケートシートを準備し、それぞれのシートに評価を行う授業の科目名と科目番号名を入力してから、設問に答える方法で実施いたしました。

なお、アンケート終了後、問題点等について検討を行い、今後とも授業評価のアンケート調査には TWINS を利用していくことになりましたが、学生の履修情報を活用して回答時に科目番号や科目名の入力が省略できないかとの意見があり、早速、次回に向けた新しい授業評価アンケート機能の開発を行いました。この新しい機能では、従来どおり回答者である学生個人のプライバシーを守りつつ、当該学生の履修情報と開設授業科目を組み合わせ、履修申請した科目ごとにアンケートシートを表示するようにしました。これにより、回答時の科目番号及び科目名を入力する手間と不必要なアンケートシートが省かれ使い勝手が大幅に改善しました。

TWINS の運営について、利用者が意見を言えるようにすべきだ。

TWINS に関する意見、問合せ等は、学務課において受け付けています。TWINS の TOP ページやユーザ ID 証、さらには利用の手引きなどに記載している学務課成績管理・システム担当 (Tel 853-7393) に連絡してください。

なお、TWINS の運用は、TWINS 運用委員会において決定されています。皆さんからの要望が、TWINS への効果的、利便性を高める建設的な内容であれば、当該委員会で検討し今後の改善計画に反映されます。

TWINS の学生個人のページに顔写真がでているが、Web に顔写真がでることを、いつ学生側に伝えたのか。なぜ、顔写真がでているのか。

学生の顔写真は学籍情報の中に登録しており、Web で閲覧できることは、新学務システム導入前から説明しています。最初は、システム導入の半年前に筑波大学新聞 (平成 13 年 10 月 15 日発行) の特集記事で、さらに平成 14 年 2 月 4 日 (月) には、在学生を対象とした「新学務情報システム導入説明会」(場所: 大学会館) でも説明しています。

また、平行して各学群長・学類長及び教員に対しても「新学務システム説明会」を開催し、その中でも説明しました。TWINS は、このような経緯を経て、Web システムを使った履修申請、成績参照及び学籍参照 (顔写真を含む) の導入についての全学的なコンセンサスが得られた上で運用されています。

顔写真を含む個人情報取扱いについては、毎年、入学時の新入生オリエンテーション、TWINS 操作ガイド及び学生便覧の中でお知らせしていますので参照して下さい。

なお、この学籍情報は、学生本人のほか、当該学生が履修登録した授業科目の担当教員 (開講する学期に限る。)、学群長、学類長、クラス担当教員、卒業指導教員、関係事務職員に限り、学生の教育指導上の観点からのみ閲覧できるようにしています。

ただし、この場合であっても、在職期間中に限り閲覧できることとし、閲覧できる者を限定しています。

(3) 就職・進路関係

就活中、他の大学は春休みであるが、筑波は 3 月まで授業がある。単位不認定が多かった。考慮してほしい。

就活に集中できない。これは筑波大の就職実績を悪くしている一因でもある。

本学は、3 学期制のため、就活に支障が出ているとの意見があります。今後の課題であると考えます。

就職情報を積極的に流してほしい。

バックアップを早い時期 (1 年次のときから) から定期的に指導してほしい。

毎年 11 月に 1, 2 年生向け就職ガイダンスを、また就職活動を迎える学生向けには、6 月のオリエンテーションを皮切りに、9 月から 2 月まで就職ガイダンス等の各種イベントを開催しています。就職情報は、就職課、就職資料室、就職情報提供システムをご利用いただきたい。就職相談も随時受け付けています。なお、就職支援については、未だ不十分な面もあり、今後更に充実するための企画を検討しているところです。

<p>教員希望者に対するガイダンスや対策講座が少ない。集団討論や集団面接などの対策も行ってほしい。他大学の大学院に進学するには、どうすればいいか。</p>
<p>未だ不十分な面があるため、今後更に充実する方向で検討しています。他大学の大学院の募集要項が就職資料室（本部管理棟2階）にあるのでご覧ください。</p>
<p>就職状況が厳しい。低学年から意識を高め、要望に応えるような斡旋制度があるといいと思う。</p>
<p>現状では、企業側が厳選採用を行っている状況であり、現状では難しくなっています。また、技術系採用については、推薦制度もあるのでこの制度を活用することも有効な手段です。</p>
<p>就職活動しやすい環境を整えてほしい。研究色が強すぎる。やる気がなさすぎ。</p>
<p>一度に環境を整えることは困難であるが、就職課としても大きな課題として捉えています。基本的には、自分から「切り開く」姿勢も必要かと思います。</p>
<p>就職ガイダンスを水曜以外にも行ってほしい。水曜4限には、必修の授業がある。</p>
<p>多くの学生諸君にとって一番都合が良いと思われる日程で就職ガイダンスを行っていますが、回数を増やすことが可能か等を改めて検討したいと思います。</p>
<p>理系向け就職情報をもっと充実してほしい。</p>
<p>就職課、就職資料室又は就職情報提供システムを利用したり、各教育組織の就職担当の先生に聞く方法があります。</p>
<p>低学年のうちから学外の病院で働いている卒業生との交流の場がほしい。</p>
<p>OB・OG 懇談会の講師として招く等、今後検討したいと思います。</p>
<p>各学群ごとに、専門性のある就職課を設けてもらえたらと思う。</p>
<p>現状では難しい問題です。学内ネットワーク等を整備して、就職支援を充実したいと考えています。</p>
<p>交換留学をした場合、4年間で卒業できると聞いたが、就活の問題はどうなるのか。</p>
<p>帰国後に活動することになります。就職課では、随時就職相談を受け付けているので、詳しいことは、窓口に来てください。</p>
<p>もっと現場で働いている人、もしくは働いたことのある人の話も聞きたい。</p>
<p>就職ガイダンス又はOB・OG 懇談会の中で検討していきたいと思います。</p>

(4) 図書館関係

<p>図書館を24時間あるいは、土・日の午前中も図書館を開けてほしい。</p>
<p>図書館全館の24時間開館は困難ですが、土・日・祝日の開館時間については、平成16年度に見直しを行い11月からは午前10時から午後6時まで開館しています。なお、医学図書館については、24時間開館の実現に向けての努力等、開館時間をさらに延長できるよう努めております。また、図書館情報学図書館、大塚図書館では、教員、大学院生向けに閉館後の時間外利用（無人開館）をすでに実施しております。</p>
<p>図書のコピー料金の値下げを。</p>
<p>平成16年4月の法人化に伴いコピー料金の見直しを行い可能な限りの値下げをしました。白黒については1枚10円より値下げすることはできませんでしたが、カラーについては1枚70円とし30円の値下げをしました。</p>

図書館の照明が暗いので、もっと明るくしてほしい。
中央図書館では、各階の優先順位の高いところから照明改修工事を行い、照明設備を改善しています。また、医学図書館でも平成15年度に1階閲覧スペースの照明改修工事を行っています。未だ、改修できていない箇所もありますが、順次利用環境の向上を図っていきたいと思います。
カード式コピーや個室が大学院生だけでなく、学群生にも使えるようにしてほしい。
平成16年4月から、中央図書館でプリペイドカード式の複写機5台導入しました。各専門図書館にも、段階的に導入していく計画です。また、校費用カードは教員に限り発行しております。研究個室の利用については、現状でも部屋数が十分でなく、利用対象者を拡大することは困難です。閲覧席でも個室に準じた利用ができるよう、情報コンセントを設置し、閲覧席でのパソコン利用席の区分も行っています。ロッカーの整備についても、順次整備に努めます。
蔵書を豊富（新書や文庫本、一般図書も）にしてほしい。
図書を購入するための予算は、非常に厳しい状況です。その中で、教育研究活動を支援する大学図書館としての基本方針に基づき、毎年購入計画を立案し、必要な図書館資料の収集に努めています。今後も利用者からの要望等を踏まえ、蔵書の充実に努めていきたいと思います。
図書館内に給水所を設置してほしい。
ウォータークーラーは、設備管理の点から新規に設置することは困難です。資料汚損の恐れがあるため、館内は原則的には飲食禁止としておりますが、持参されたペットボトルの水は館ごとに指定された場所でお飲みいただけますので、ご協力をお願いします。
レファレンスサービスの延長を。
人員配置の点から、レファレンスデスクのサービス時間の延長は困難です。図書館の利用方法、文献の探し方などについてはWebでFAQのページを用意しておりますが、電子メール（reference@tulips.tsukuba.ac.jp）でも受付けておりますのでご利用ください。また、学外文献複写のオンライン受付サービスの拡大を検討中です。

(5) 施設・設備関係

<p>【外灯】</p> <p>ループ道路際の樹木は、交差する道路を見にくくしており、非常に危険なので、伐採してほしい。</p> <p>夜暗くて危険なため、遅くまで実験できない。安全に有効なのは、警備員の見回りより外灯の設置だろう。</p> <p>筑波大学は学ぶ環境は整っているが、学内の治安が悪すぎる。外灯を増やすなど、もっと夜の宿舎付近の安全性を良くしてもらいたい。</p> <p>後述の【ハザードマップ】及び【セーフティ・プロジェクト】により、緊急度の高い危険箇所から早急に改善を図ることとしています。</p> <p>平成15年度には、全学学類・専門学群代表者会議において構内外灯不足箇所及び照明の障害になっている樹木等の調査が行われ、施設部に要望書が提出され、施設部では、これを参考に照明の障害になっている樹木の枝払いを実施し、外灯不足箇所について、外灯の一部増設をしています。</p>
<p>【道路の段差等】</p> <p>歩道を街路樹の根が侵食し凸凹に、歩道とループの段差が大きく、自転車は勿論、車椅子にとっても不便なので、改修してほしい。</p> <p>点字ブロックが途中でなくなっていたりするので、学内のバリアフリーを推進するため、障害者の方々と交えた話し合いをもってほしい。</p>

施設部では毎年、歩道の部分的な補修やバリアフリーの推進のための整備を実施してきました。今年度も中央広場の水路の橋をバリアフリーにする工事を行うなど、緊急度の高い箇所から早急に改善を図ることとしています。また、歩道の全面改修については相当な予算を必要とすること、街路樹の伐採問題などについて検討を行う必要があること、など総合的な検討を行っていきたく考えています。

ハザードマップの作成やバリアフリー対策等については、多くの学生の方にも是非参加していただき、学生の視点に立った改善計画としたいと考えています。

【ハザードマップ】平成16年度の施設整備の基本方針として「キャンパスの安全・安心の向上」をコンセプトに、現在キャンパス・リニューアル計画の見直しの一環として、学内の危険箇所をリストアップする調査を行うとともに、ハザードマップの作成に着手しています。

【ペDESTリアン】

ペデが狭く、雨の日は滑りやすく危険なので、早急に改善してほしい。

歩行者にとっては、自転車が危険（中央図書館から三学A棟に続くペDESTリアンのスロープなど）なので、ペデを自転車用と歩行者用に分け、広げてほしい。

ペDESTリアン・デッキの材質の見直しや全面的な改修については、改修計画を策定し早急に改善を図りたいと考えています。

ペDESTリアン・デッキの必要幅員についても、この計画で検討します。

ペデからループ道路への接続をしてほしい。

キャンパス・リニューアル計画でも、ご指摘のペDESTリアン・デッキとループ道路を結ぶ副空間軸（サブペデ）の整備を計画しています。この計画により、総合研究棟A及びBの部分と附属病院部分の副空間軸を整備しました。今後も計画的に整備を進めたいと考えています。

安全面に関してルーズすぎる。自己管理・自己防衛するのが基本だが、校舎を塗り換えるよりもペDESTリアンの舗装、外灯の補充などを考慮すべきだ。

ペDESTリアンの舗装については、前述の通りです。

外灯の補充については、セーフティ・プロジェクトやハザードマップの結果を参考に、計画的に整備を図ります。

【セーフティ・プロジェクト】筑波キャンパス及びその周辺地域における学生及び教職員の安全を確保するため、防犯対策を総合的に支援・促進することを目的として、「筑波大学セーフティ・プロジェクト」を今年度設置しました。このプロジェクトには、副学長、関係する教職員及び学生の代表も参加して、周辺地域と連携した安全確保の方策を検討しています。

【冷暖房】

クーラーを点ける時期を7・8月でなく、6・9月にしてほしい。

冷房設備の設置には、膨大な費用を要すること、エネルギーの使用の合理化等とのバランスを保持しなければならないこと等を考慮し、建物の改修時に設置するなど順次整備を図っていきたく考えています。供給時間及び冷房期間については、利用実態や室内温度の状況、費用対効果及びキャンパス全体のエネルギーの使用の合理化等を勘案したうえで対応していきたく考えています。

【冷暖房実施要領】本学の冷暖房の円滑な実施と省エネルギー化を図るため「冷暖房実施要領」を定めています。この要領では、教室等の冷房期間は7月16日から8月31日において外気温が28を超える場合とし、供給時間は8時30分から18時までとしています。

【その他】

宿舎、校舎を問わず洋式トイレを増やして、清潔な環境にすべきである。

キャンパス・リニューアル計画の一環として、平成15年度からトイレのリニューアルモデル事業を行っており、これまで大学会館、第一学群H棟、開学記念館を改修しています。今後もモデル事業を推進することとしています。

施設部から要望があります。トイレトーパーの芯などを捨てて、排水管が詰まっている事例が多く発生しています。経費節減の観点からも、使用者である皆さまがマナーを守ってくださるよう、ご協力をお願いします。

<p>体育専門以外でも気軽に利用できるトレーニング施設（シャワー兼備）の設備を。</p>
<p>体育専門以外のトレーニング施設の整備要望については、現在の大学の施設状況では、必要性及び緊急性等から整備する優先度が低いと判断します。</p>
<p>一学群の校舎が新しくタイル貼りされたが、格好悪い。二学、三学のようにして下さい。</p>
<p>外壁のリニューアルにあたっては、色彩計画を芸術学系の教員の方に委ねて、専門的な見地からアドバイスを受け決定されたものです。 色彩については、見慣れた風景が一変したからか、ご指摘のような意見もありますが、学生全員の好む色を選定するようなことはできないことから、ご理解願います。</p>
<p>新しい研究棟が建てられているが、一方で建物の老朽化で学生生活に支障をきたしているの で、金銭的に余裕があるのなら、改修工事をしてほしい。</p>
<p>建物の老朽化の改修については、「国立大学等施設緊急整備5か年計画」（平成13年度から5か年 間）の柱となっていますが、対象となっている建物は昭和45年以前のものであります。昭和 48年度に開学した本学の施設はその対象外となっており、概算要求は行っているものの、この理由 により採択されていない状況が続いています。</p>
<p>水飲場を学内に増やしてほしい。</p>
<p>建物外部への設置については、利用頻度が少ない場合は給水配管内で死水になり、衛生管理に問 題が生じますので設置していません。 建物内部については、備品等による対応と考えますが、同様の問題の発生が考えられます。 【参考】開学当初においては、建物内及び屋外運動場に水飲の設備を整備したこともありますが、利 用頻度が少ないことと長期休業期間では給水配管内で死水になり、衛生的な管理ができないこと から撤去された経緯があります。</p>
<p>学生のためになる予算の使い方をしてほしい。建築中の研究棟も、それが何のために必要な のかを説明している努力もみられない。</p>
<p>総合研究棟は大学院重点化のための施設ですので、学生のための施設でもあります。 学生の皆さんに直接説明をしておりますが、今後検討していきます。</p>
<p>喫煙コーナーや吸い込みカウンターだけでは、煙が漏れます。パーティションで区切って煙 が漏れないようにしてください。 予算がなければ、タバコを吸う人が負担すべきです。</p>
<p>喫煙コーナーや吸い込みカウンターについては、各建物の管理者からの依頼により工事等を実施 することになります。</p>

(6) 事務職員への要望関係

<p>高圧的な態度で一方的に学生が悪いと決めつけて対応する人がいる。学生の話きちんと聞 いてほしい。 学内で行うイベントや施設の利用等に関してもっと柔軟な対応を望む。 事務の人は、学生のことを一番に考えてほしい。「働く」ということの意識改革を。</p>
<p>適切かつ迅速な業務処理に必要な専門的知識・能力を向上させるため、各種の研修会を実施して います。今後も接遇等を含めた「SD(Staff Development)研修会」の実施等によって改善を図ります。</p>

(7) 掲示関係

<p>掲示板が煩雑で、期日が過ぎた掲示物もあり、どれが新しい情報なのか分かりにくく、大事 な連絡（奨学金や提出物など）の告知が目立たないので、見逃しがちです。</p>
<p>学生諸君への連絡は、掲示によって行うこととなっています。そのため、各支援室では、掲示個所、 掲示物等を工夫して掲示が判りやすいようさらなる努力をしていきます。</p>

(8) 授業料・奨学金関係

独立法人化しても、授業料免除は継続してほしい。金銭に困り、学業に集中できない面もある。
継続して実施しています。
奨学金・貸付金等の拡充。無利子融資の増加。
現在、日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金がありますが、それとは別に大学独自の奨学金制度創設の可能性を検討していく予定です。
外国人留学生への奨学金の決め方を公開してほしい。
奨学金の応募方法には、大学内の選考を経て学長が推薦する「大学推薦」と個人が応募するもの二つがあります。次年度の奨学金の受給を希望する留学生は、7月中旬に申請書を所属する教育組織の長に提出します。 各教育組織では、選考委員会等が申請書類等を基に選考を行い、推薦順位が付されます。これら各教育組織からの推薦順位に基づいて、留学生センター運営委員会の奨学金に係る委員会では、奨学金受給候補者の選考に関する基本方針等に従って選考し、推薦候補者の総合の推薦順位を決めます。順位の上位の者から各奨学団体等への推薦候補者を割り振り、各奨学団体等へ応募することになります。

(9) 福利厚生施設関係

第一学群の食堂は、ヒドイです。第二、第三学の充実度との差が疑問。
平成16年4月に食堂業者が交代になりましたので、改善されていると思います。
体芸食堂は、スポーツ選手がいるのに、メニューのバランスが悪い。栄養バランス等を考慮し、もっと充実してほしい。
厚生会では、栄養面、品目、営業時間等について、現在、業者に改善の要求中です。
マクドナルドや吉野屋などテナントに入れてはどうか。
本学の福利厚生業者は、テナント方式ではなく厚生会の委託業者として、学生、教職員の福利厚生事業を行っています。そのため、市中の業者よりは安価で提供していますので、マクドナルド等の業者に本学の福利厚生業者として営業が可能か等を打診するとともに、厚生会理事会で検討する必要があります。
医学食堂のメニューをもっと多く。第一～第三のように美味しいか、もしくは体芸のように安くて食べられるようなメニューがほしい。
医学食堂では、昨年度食堂をリニューアルした後は、メニューの一部を2週間単位で更新しています。
学生食堂は、高くてマズイので質の向上を求めたい。業者間に競争みたいのがあっていいのではないだろうか。 宿舎共用棟の売店は、品揃えが悪く値も安くない。近くのコンビニに行った方がマシ。
業者には、できるだけ安価での提供を要求しています。厚生会では、価格検討委員会で価格が適正かどうかを判断し決めています。燃料費や水道料、人件費等の経費及び業者の採算を考慮し、現在の価格を設定しています。
第三学群食堂の改装を強く希望します。
第三学群大食堂は、平成7年度に改装しましたので、今のところ改装の予定はありません。
宿舎のクリーニング屋さんは、もう少し遅くまでやってほしい。
かつては19時まで営業していましたが、17時以降の利用がほとんどなかったため、17時を現在の営業時間としています。急ぎの洗濯物は、従前から宿舎売店（21時まで営業）で取り扱っていますので、ご利用ください。

(10) 課外活動・サークル関係

文サ館のスペース等の使用について、サークル間でのトラブルが激しいので、芸術系サークル会館をつくってほしい。

芸術系サークル館の設置については、10 数年以前から概算要求事項として要求していますが、実現は難しい状況となっています。芸術系と文化系のサークルは、文サ館を共用していますので、相互で話し合い融通しあって使用してください。

(11) 学内行事関係

学園祭の次の日を休みにしたり、雨天順延を考えてほしい。スポーツ・デーとの間隔が近すぎる。

また、スポーツ・デーや学園祭が部活と重なって参加できないから、そこらへんをよく考えた日程を決めてほしい。

学園祭の前日と翌日は、それぞれ準備（午後）と後片付け（午前）のため、半日休業となっています。また、学園祭とスポーツ・デーとの間隔は、11 月下旬の 2 学期末試験との関係から 2 週間程度となっています。なお、学園祭及びスポーツ・デー等の学校行事の日程を、課外活動にあわせることは困難だと思われます。

学園祭の展示系をもっと充実させてほしい。

学園祭の企画については、全大会の下部機関である学園祭実行委員会が、例年学術企画を充実すべく関係組織に働きかける等の努力をしています。各企画は、学生諸君が何を企画するかで決まります。

大学 2 年までスポーツ・デー実行委員として働いたが、見えない雑務も多く、授業に支障がでることもしばしばだった。学生主体とはいえ、その負担、人数不足を考えて、長期的に見て、単位認定、授業化の方で動くのも「講義を魅力的にする」意味では、考慮の隅においてほしい。

スポーツ・デー学生委員同士で、各自の授業等に支障が出ないように役割分担等を検討し、特定の個人への負担が集中しないよう工夫する必要があると思われます。なお、スポーツ・デーの授業化等については、スポーツ・デーの種目、クラスや学類等单位での参加等を含めて時間をかけて検討することが必要だと思われます。

(12) 学内交通関係

【学内バス】

学内バスを図書館閉館まで運行してほしい。ダイヤの見直しが必要（増便は不必要）…。休み時間に集中させ、他の時間帯はいらぬ。現状の運行体制での改善が不可能なら、民間委託によるコストダウンや路線バスによる学生無料乗車バス配付なども考えるべき。

交通安全対策委員会のもとに設置された、新学内交通システム検討プロジェクトチーム（平成 16 年 5 月設置）において、学内連絡バスサービスのあり方について、関係者の様々な意見を参考に検討しました。結果、現在の学内連絡バスは車両の老朽化等による維持費の高騰等の理由により平成 17 年 8 月をもって廃止し、平成 17 年 9 月からは、より利便性の高い新学内交通システムに移行する予定です。運行について現在未調整の部分もありますが、運行経路としては学内だけでなく「つくばセンター」まで直結される予定です。また、運行時間帯も朝 6 時から夜 11 時まで運行予定ですので、学内の移動だけでなく通学の足としても利用してください。詳細は、本学 HP スタッフオンリー（学生もアクセスが可能）に掲載しています。

【駐輪場】

4～5 月は、特に図書館から第一学群 A、B、C 棟間の橋や外国語センター・桐葉橋周辺部分が混み、また、歩行の妨げにならないよう、駐輪場を設ける一方で、違反者は厳しく取り締まるべきだ。

全学的に駐輪場が少ないので、増設してほしい。

駐輪場の設置状況及びその利用状況を調査し、改修や増設の必要性等について検討します。

【駐車場】

遠くから車で通学している者には、優先的に駐車させるとか、駐車場を一般開放する時間帯を作ってほしい。

宿舍や大学周辺の一般道路で駐車違反が多く、交通事故の原因にもなるので、野球場駐車場の無料開放や立体駐車場の導入を検討してみてもいい。

サラリーマン連中が、一般駐車場を昼寝に利用している。臨時入構証を容易に発行しすぎではないだろうか。駐車場のパトロール隊も、一車一車確かめて、取り締まるべきだ。

現在、自動車通勤、通学において条件を満たす職員及び学生については、全て許可されているところですが、地域を取り巻く環境の変化などから、ますます駐車場の必要性が高まってくるものと思われます。

構内駐車場については、今後も引き続き、受益者負担の原則に則った運用が必要となるので、ご理解ください。また、現在、構外の路上駐車については、大学の管理権外のため、取締り等は実施していませんが、地域住民からの苦情等も多いことから、今後、警察と協力し何らかの対応をする必要があると考えています。

(13) 学生宿舍関係

【居室・冷暖房】

部屋が狭くて汚い。敷地が広いのだから、宿舍の居室をもっと広くして欲しい。

学生宿舍の居室の広さは、文部科学省の基準で玄関、トイレ、補食室等を含め1人当たり18㎡と決められており、居室を大きくするのは困難です。部屋の汚れは、入居者が退居したとき、特に汚れがひどい部屋のみ管理事務所に室内のクリーニング及び塗装を行っています。入居時に汚れが目立つ場合には、管理事務所に申し出てください。

部屋の蛇口に浄水器がつかないので、取り換えて欲しい。

浄水器が付けられる蛇口に、順次交換してきました。今後も、予算が確保出来次第交換する予定ですが、早期の交換は難しい状況です。

冬の暖房の時間帯は、必要な時間帯と合致していない。

本年度の暖房の運転時間は授業時間等を考慮して、16時～22時を16時30分～22時30分に変更します。また、朝の運転開始時間については、現行のままとします。

宿舍の空調設備。

学生宿舍が建設された当時、空調設備は普及していませんでした。各部屋にエアコンを付けようとする、一般家庭200戸分相当以上の電気設備を増設しなければなりません。これだけの電気設備の増設は、東京電力との協議及び学内受電設備の変更等多額の費用が必要になるので、直ちにこの問題を解決することは困難です。

【共用＝補食室、洗濯室他】

宿舍に3年間住んでいるが、トイレの環境は改善されつつあるが、補食室、洗濯室は汚いので、改善してほしい。洗濯室の洗濯機、乾燥機が壊れすぎ。

補食室や洗濯室など共用部分の衛生については、居住者が使用上のマナーを守ることが大切です。お互いに利用し終わったら、後片付け、清掃を必ずしてください。特に、共用部分には、ゴミの放置及び私物を置かないでください。また、洗濯機、乾燥機は、使い方が悪く故障が非常に多いことも事実です。各人で使い方に気をつけましょう。故障に気付いたら、すぐに管理事務所に連絡してください。

洗濯が終わっても放置する人が多い。トイレのドアが閉まりにくい。

洗濯物を放置しておくと、他の居住者が洗濯することが出来ない、盗難にあう可能性が高いことを、居住者自身が自覚する必要があります。トイレのドアの異状は、管理事務所にお知らせください。速やかに対応します。

<p>最近、洗濯機 6 台の内 2 台が故障していたため、洗濯をすることが出来なかった。また、宿舎のガス台が故障していたため、食事をつくるのも困難だった。学生宿舎の設備の維持・管理をきめ細かくして、故障はすぐに修理してほしい。</p>
<p>日頃、定期点検を行って早めに修理をしていますが、洗濯機、ガス台の使い方が悪く故障が非常に多いことも事実です。特にガス台の故障については、たいへん危険です。洗濯機、ガス台等の故障に気付いたら、すぐに管理事務所にお知らせください。</p>
<p>【共用 = 風呂・シャワー】 24 時間使えるシャワーがあると、とても便利だと思う。せめて夏ぐらい昼間の開放をしてほしい。シャワーのみ使用で 100 円くらいで。</p>
<p>一の矢共用棟にコインシャワーがありますが、その他の宿舎にはありません。今後の検討課題ですが、現時点では直ちにこの問題を解決することが難しい状況です。</p>
<p>風呂の営業時間をもっと長く。日曜祝日も両方の宿舎で営業してほしい。</p>
<p>学生宿舎の浴場の終了時間は、利用者の要望を受け 20 時から現在の 22 時 30 分にしました。浴場へは、直前まで入場可能なので、実質的な終了時間は 23 時過ぎになります。 学生生活の安全性を確保するには、今の営業時間が限度と考え現在に至っています。また、学生側の意見は、全代会がアンケートを実施してまとめることになっていきますので、全学的に統一された要望が提出された時点で再度検討したいと思っています。</p>
<p>【環境、安全】 宿舎環境の見直しについて、何かあってからでは遅いと思う。安全性・衛生面、少しずつでも改善していくべき。安全確保をしっかりしてほしい。 安全性が低すぎる。夜中の出入りはある程度制限してほしい。</p>
<p>全室ドアスコープ及びドアチェーンの設置が完了しました。また、平成 17 年度中に各建物の玄関を静脈認証システムによるオートロックにし、その建物の居住者以外は入れなくします。 現在、警備会社、管理事務所が昼夜パトロールをしていますが、各人の居室については、ドアの施錠、ドアチェーンの確認等防犯に心がけてください。また、不審者、不審物を見かけたときは、速やかに管理事務所ご連絡してください。</p>
<p>部屋にカビが生えたり、ゴミ捨て場が汚く、衛生面で劣悪な宿舎生活が普通になっている。学生接近をアピールする筑波大学ならば、学生の住環境の改善をもっと積極的に行うべきです。</p>
<p>学生宿舎居住者の中には、ゴミを集積場の中に入れてないで、周辺に放置している人がいます。このため、ネコやカラスがゴミを散らかし、その周辺を汚しています。ゴミは、つくば市の分別区分に従い、宿舎管理事務所の指示する方法で指定された場所に出してください。ゴミ集積場内は、土・日・祭日を除き毎日清掃しています。また、部屋のカビについては、居室内をこまめに清掃したり換気を行うことで、ある程度防ぐことができます。</p>
<p>【管理・運営】 管理事務所の職員の対応が悪い。盗難に遭っても報告書を書かせるだけでその後の対策を全く講じない。</p>
<p>管理事務所の職員の対応は、以前に比べて改善されています。もし対応が不十分と思われた場合は、学生生活課学生宿舎担当 (Tel 853-2385) まで連絡してください。学生宿舎の安全については、警備会社、管理事務所が昼夜パトロールをして注意を喚起するとともに、掲示及び放送により注意を促していますが、盗難を防ぐには、居住者一人一人の注意が重要です。</p>
<p>宿舎の生活環境は非常に悪い。もっと改善すべきところがあるはずだ。 宿舎生活について不満や要望があっても、誰に伝えればよいか分らない。</p>
<p>学生宿舎の改善は、居住者の要望や管理事務所からの意見などを受けながら行っています。具体的な要望等がありましたら、平砂管理事務所 (Tel 858-0131) 又は学生生活課学生宿舎担当 (Tel 853-2385) まで連絡してください。なお、管理事務所では、意見箱「皆さんの声」を各地区の共用棟等に置き、居住者の学生宿舎に関する要望等を常時受け付けています。また、要望等に対する回答は、各地区の共用棟等の掲示板に掲示しています。</p>

【施設，設備】

IT時代において、宿舎にLANがないのはおかしいと思う。春日宿舎にはあるのに、追越，平砂，一の矢宿舎では中央通信システムのみであり，その工事も遅い。最悪なネット環境にあると思う。

春日地区の学生宿舎は，図書館情報大学時代にLAN設備が設置され，統合後も利用されています。筑波地区の学生宿舎にLAN設備を設置することについては，予算の問題などがあり，早急に対応することが難しい状況です。当面は，筑波地区の学生宿舎でインターネットを利用する場合は，従来通り中央通信システムを利用することになります。

学生宿舎が老朽化しており，部屋に防音設備もなされていない。ぜひ建て直してほしい。

学生宿舎を建て直すためには，莫大な予算を必要としますので，大学としては大型改修により対処していきたいと考えています。今後の予定として，平成17年度は追越25号棟の大型改修を行います。その他の建物も年度計画により，順次改修していく予定です。

【入居】

2年目，3年目にもっと宿舎に入れるようにしてほしい。

2年生以上の入居希望者が多数いることは承知しています。筑波大学では，開学以来，新入生，外国人留学生を優先的に入居させています。学生宿舎の収容定員の関係で，学群2年次以上の入居については，検討課題とさせていただきます。

学生宿舎の継続入居について抽選と聞いたけど，金銭面でアパートとかに移るのが困難な人は，優先的に継続入居させてほしい。

学生宿舎の継続入居申請の際，病気や経済的理由等がある人については，選考の結果，特別事情者として認められれば，抽選によらず優先入居者として認める制度があります。

【その他】

追越22，23，24号棟は2階に1つの割合でしか補食室がないので非常に不便なうえに，廊下には「窓のない外廊下」という条件。冬は，毎日寒さに耐えつつ料理しに行かねばならない。他棟より悪条件ではないか。

補食室の数については，宿舎により不公平になっていることは承知しています。補食室を増やす場合は，居室を減らし改修することになりますので，入居希望者多いことを考慮すると難しい状況です。「外廊下」は大型改修で対応する予定ですが，構造上の問題や予算の関係上早急に対応することは難しい状況です。

宿舎について，理系の生活を支えるよう支援してほしい。学部4年次以上優先的に風呂，キッチン付きの宿舎を増やしてほしい。

文系，理系で差をつけることは考えていません。風呂，キッチン付き宿舎については，大学院生及び外国人留学生を優先して入居させていますが，現在大学院生及び外国人留学生の希望者全員を入居させることはできない状況です。

(14) 学内の治安関係

一の矢学生宿舎地区は外灯が少ないため夜間暗いので，警備員の詰所をつくるか，夜間警備員を増やしてほしい。

学内で防犯キャンペーンなどを実施し，防犯の意識は高まっているが，宿舎内での盗難や侵入の被害に対しては対策がなされていないのではないかと。警備員には，宿舎周辺に出没する地元高校生による引ったくり犯をつかまえてほしい。学内から追い出すだけじゃ意味がない。

宿舎地区の安全に対しては，関係部局と調整の上，今後，更に検討していく予定であり，外灯については，引き続き整備を図っていくこととしています。また，警備員については，職務上の制限があることをご理解いただきたい。夜間時における防犯等については，現状においても巡回パトロールを実施しているところです。宿舎内の盗難や居室への進入については，何よりも学生諸君に自己防衛意識の涵養をお願いします。

(15) 保健管理センター関係

<p>保健管理センターの診察の日を増やして欲しい。授業で行けない、休診の時はもっと分かりやすくしてほしい。</p>
<p>センターに配置されている医師は、学生及び職員に対する日常的な診療（天久保，春日）のほか、健康診断とその後の事後措置（再検・保健指導）や附属病院での外来診療，その他教員としての通常の教育・研究を行っております。また，法人化後は，労働安全衛生法に基づく産業医や衛生管理者としての業務も行うことになりましたので，現在の人員ではこれ以上，診療時間帯を広げるのは困難です。なお，各診療科の診療体制（週割振表）については，「学生便覧」やセンターのホームページに掲載していますが，入学試験の救護や健康診断等のため休診にしたり，利用者が減少する夏季休業期間中は，診療時間を短縮することもあります。「休診等のお知らせ」は，事前にセンター玄関ホールに掲示しておりますが，今後は，何らかの方法で診療日及び休診日の情報を身近で得られるよう検討したいと思っております。</p>
<p>学生の心のケアの充実。（自殺，うつが多すぎ）</p>
<p>センター1階の学生相談室では，カウンセラーと精神科医が，土・日・祝休日を除いて心理相談及び精神衛生相談を受け付けています。また，入学時にUPI検査を実施し，心理的，精神的な問題を抱え，早期対応の必要な学生さんの把握と，教育的支援に力を入れるとともに，毎年3月頃にはエンカウンター合宿の機会を設け，不適応感をもつ学生の皆さんが自己理解と自己開発を促進し，より充実した学生生活を送ることができるよう指導・援助を行っています。一方，学生相談に関する組織的な位置づけと機能的役割やマンパワーの充実等，教育支援の一環としての学生相談体制の在り方を，全学的な立場から鋭意検討を行う必要があると考えています。</p>
<p>保健管理センターの医者への対応の悪さをどうにかしてほしい。たまらない怒りと不満がある。</p>
<p>センター医師への対応の悪さについては，具体的に示されていませんので，お答えに窮します。利用される学生や職員の皆様に対しては，常に懇切丁寧な対応を心掛けているつもりですが，診療あるいは相談の際に，気分を害されたことがあったとしたら深くお詫び申し上げますとともに，今後はそのようなことのないようセンター職員の使命と自覚を促す所存です。</p>

(16) 大学の広報関係

<p>大学の歴史の広報を盛んにし，社会的評価を上げる。</p>
<p>国立大学法人化に伴い，大学広報の重要性に鑑み，広報戦略室を設置し，広報の戦略（対学内的，対学外的）及び広報の方策（短期的，中期的）等について検討中です。 本学の歴史については，過去に開学10周年，20周年記念誌及び30周年を記念した「桐花爛漫」を刊行しています。また，今後30年史の発行も予定しています。 本学の社会的評価を上げるため，不断の努力をしていく所存です。</p>
<p>筑波大学は，学外向けの情報に乏しく，公式HPの内容が古い。</p>
<p>公式HPの掲載内容は日々更新しているところですが，広報戦略の検討の中で，HPのデザイン等の改善についてWGを設置して検討中であり，近日中に刷新する予定です。</p>
<p>学内MAPの縮小が統一されてなく，わかりにくい。</p>
<p>学内MAPは，それぞれの用途に応じて作られているため，必ずしも縮尺が統一されることがベストとは言えません。</p>
<p>学内の自然環境（動植物の分布等）を紹介するインフォメーションセンターを建設していただきたい。</p>
<p>学内の自然環境については，本学の特色の一つであり，広報手段として活用していくことは重要であると考えます。</p>

教育や研究分野の成果や教授方のアドバイスイ覧等を筑波大学のホームページにのせて、学生に見せる機会を増やしてほしい。

研究成果の発表会等は、HPで案内していますが、今後とも定期的に案内していきます。HPについては、その充実に向けて努力しているところですが、内容の充実を図る上で学生の意見を反映させることも重要であると考えています。Webmaster宛にご意見をお寄せください。

(17) その他

学生宿舎周辺及び大学内にあまりにもゴミが多いので、クラスセミナーの時間に皆で掃除・ゴミ拾いをするべきだ。呼びかけや取り締まりを強化した方がよいと思う。また、寮のおばさん達に、掃除などを頼りすぎてないだろうか。

学内一斉清掃は、学生宿舎地区は春と秋に、学群棟周辺は秋にクリーン・デーとして実施しています。クリーン・デーを行う際、学内掲示等で学生、教職員に周知し参加を呼びかけて実施していますが、残念ながら学生諸君の参加は、僅かな人数となっています。

周辺環境は、まずゴミを出さない努力や日ごろから各自が清掃に対する意識を持ち自ら実践することで、大幅に改善されるのではないのでしょうか。

成績優秀者を表彰する制度を設けたら学習意欲が向上するのではないか。

本学には開学当初から、勉強だけでなく課外活動等においても顕著な活動をした学生に対し、学生を表彰する制度があり、毎年度、表彰を行っています。

筑波大学は、学生運動が最高潮の時に設立されたためか、政治活動や集会の禁止など、学生運動を取り締まるような制度が多すぎて、他大学のように学生が自由に主張したり、行動することが難しいと思う。大学内の手続きを簡素化し、学生の活動の制約を取り除くべきです。

本学は、開学準備の段階から、学生の学内における諸手続きを、「届出制」と「許可制」のいずれにするか審議検討を重ね、「許可制」としました。その主な理由として、「届出制」としても、大学として「承認・許可」を出せないことがあった場合に、後で「不可」とするくらいなら、「許可制」とすることで、大学が責任をもって判断した方が学生にも分かりやすいとの判断からです。(出典:「筑波大学その十年」)